

NPO法人かながわ環境カウンセラー協議

KECA ニュース NO. 46

2011年(平成23年)12月24日 発行

巻頭言

現在の問題、中期の課題そして将来の展望

理事長 木村信幸

今年度の総会で就任の挨拶をさせていただいた折に、日頃思っていることが3つほどあると申し上げました。1つは、KECAは何のためにあるのか(言わばKECAの存在意義です)。2つ目は、KECAは誰のためにあるのか。そして3つ目、KECAはどうあるべきかです。

1つ目は、言うまでもなく定款に定める目的を達成するためです。一言でいえば環境保全活動の推進であり、グローバルな視点も含めた一種の社会貢献活動であるとも言えます。2つ目は、これも言うまでもありませんが、全ての受益者のためであります。この2つはむしろ自明のことと言ってもよいかと思いますが、問題は3つ目です。永遠の課題とも言えますが、この解を得るために先人を含む多くの仲間が知恵を出し合い試行錯誤を繰り返しながら今日に至っています。

今解決が求められている問題、中期の課題、そして将来の展望に整理できれば自ずとその解は導き出せるのではないのでしょうか。約1年半後の2013年3月には任意団体としてKECAが設立されてから15周年を迎えます。今日までの歩みを振り返り、現状を見つめ、そして将来に思いを馳せるには丁度頃合いかと思えます。それをKECAニュース特集号にまとめられればKECAのあるべき姿が内外に示せるのではないのでしょうか。

近頃はネットを通じた新しいコミュニケーション手段としてフェイスブックやミクシィと言った交流サイトいわゆるSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)がもてはやされているようです。メリットがある反面これで本当のコミュニケーションが取れるのか疑問もあります。どちらかと言えば内向き志向が強く、人間関係の温度は下がりつつある、即ち低温社会到来との報道もあるくらいです。まさにコミュニケーション異変と言わざるを得ません。幸か不幸か多くのKECA会員諸兄は本能的にSNSを敬遠(?)し、本当の意味(フェース・トゥー・フェース)のコミュニケーションを図ることに衆議一決していると考えられますので低温ではなくむしろ高温になる心配をした方がよいかもかもしれません。

今年度も残り半分を切りました。とにかく今は、お互いに十分なコミュニケーションを図りながら今の問題を解決(今年度の事業計画等を完遂)することに全力をあげましょう。そして良い年を迎えようではありませんか。

KECA総合研修会 I の報告

総合研修会 I 担当（環境教育委員会） 高橋 弘二



- 開催日時： 2011年10月8日（土）12時～15時30分
- 会場： 天神島ビジターセンター（横須賀市臨海自然教育園）
- テーマ： 市民活動の実践
- 参加者： 20名
- 交通： JR逗子駅－佐島マリーナ入口（バス約40分）
- 担当／協力： 環境教育委員会／横須賀三浦支部

[内容]

1. 昼食：参加者全員、ハマユウの北限地・臨海自然教育園の磯に腰を下ろし、真っ青な相模湾を見ながら担当手配の「横須賀名物・黒船弁当」いただく。
2. 講義
 - (1) 天神島の自然について：天神島ビジターセンター職員
 - (2) 横須賀での市民活動について：横須賀三浦支部支部長 高橋弘二
 - (3) 県央支部の市民活動「海老名市サマースクール」ほか：県央支部 高橋 信
3. ワークショップ
環境教育出前授業、観察会、環境イベントなどの企画書作成
4グループ（4、5人）に分かれて企画書を作成し、発表した。

[主催者感想]

- (1) 環境考察会、自然観察会を行っても参加者が少ないので、自然の中で太陽の下、みんな一緒に食べるお弁当の美味しさ・楽しさを体験してもらうため、地元の「黒船弁当」を参加者全員が海辺に腰を降ろして雑談しながら食べてもらった。お天気にも恵まれ、

三浦半島での行楽気分を味わったのではないだろうか。



(2) 往復に時間がかかる僻地?開催で参加者が少ないのではないかと心配したが、初めて三浦半島の相模湾側を訪ねた人が多く、こんな機会であれば来ることができなかつたと概ね好評だった。

(3) ワークショップも1グループ4、5人で「企画書」を作成し発表してもらった。時間が短かったが、熱心な話し合いが行われ、そのまま実施できる「企画書」もあり、KECA会員の潜在能力が確認できた。

KECA総合研修会Ⅱの報告

実施日：2011年11月26日(土)～11月27日(日)

参加者：14人(横浜支部：木村信幸、河野健三、上野秀一、杉浦勲、山田徹郎、野々村信雄、原洋夫、太田芳雄、森田守、川崎支部：近藤勝養、大中睦夫、県央支部：原千秋、西湘支部：今泉泰、相模原支部：植村國男)

行先：栃木県那須高原

訪問先：①那須平成の森(本年5月開設、環境省関東地方環境事務所)

②那須高雄温泉(宿泊)

③日光国立公園那須高原ビジターセンター(本年11月開設、環境省関東地方環境事務所)

1. 那須平成の森は那須御用邸の敷地の半分の560haを、今上天皇のおことばから自然観察の森として整備され、宮内庁から環境省へ移管して本年公開されました。那須平成の森フィールドセンターにて当所の指導員から周辺屋外を歩きながら約1時間かけてこの施設の由来とこの地と自然の特色について聴きました。この地が那須駒の生育地であり、又薪炭林としても活用されてきたとの興味深い話も聞きました。(写真：茶臼岳と那須フィールドセンター、フィールドセンターにて、フィールドセンターの観察会)





について認識を深める自然観察会に主眼を置いたものでしたので、2日目の朝食後、バスの出発前までの1時間、大中睦夫様と原千秋様に講師をしていただいて朝の高原での自然観察会を楽しみました。ササと竹の違いや蛾と蝶の



できました。(写真：おおりり山荘前、高雄温泉の早朝観察会)

3. 高雄温泉は硫黄泉です。ゆっくり温泉につかった後の懇親会はくつろいだ宴席となりました。環境カウンセラーとして参加者各位のお立場から、おもいを吐露していただいたように思います。KECAの明日へのエネルギーを高めるために、こうした交流の場は大変意義深いものと感じました。余談ですが大きな山荘が満杯になる集客力があること、そういう需要があること、そして満席で送迎バスを東京～横浜に毎日往復させる段取りのすごさをあらためて感じました。

4. 本年の研修会Ⅱの実施について今後のために記録しました。会を盛り上げていただいた参加者の皆様有難うございました。今後とも多くの会員が参加できてKECAとして有意義な研修会となるように企画してゆくことが必要とおもっています。そのためには常日頃から意見交換して参りたいとおもいます。(植村記)

2. この地帯には那須高雄温泉を含む名だたる七つの温泉があります。宿泊したおおりり山荘は那須温泉街からはなれた高台に位置する高雄温泉にあります。今回の研修旅行は生物多様性



違い、里山に近い山道に生えるオオバコ等について教えて頂き、コガラや渡り鳥のツグミの野鳥観察も



「よこはま環境行動フェスタ2011」参加報告

横浜支部(大野・河野)

横浜市環境創造局主催の頭書行事に参加したので報告する。

1. 開催日時：11月5日(土)、11～16時
2. 場所：みなとみらいクイーンズパーク(クイーンズスクエア中ほどにある屋外の板張り広場)
3. 主催：横浜市環境創造局
4. テーマ：あなたの毎日にエコをプラス!

【暮らしの中のエコ(新エネルギー、省エネルギー、地球温暖化対策)、
水の大切さを考える(下水道)、生物多様性(身近な生きものたち)】

5. 参加団体名：KECA を含め 7 団体、他に行政枠として横浜市環境創造局みどりアップ推進課等。

6. 参加結果の概要

天候に恵まれ開催場所が人の集まるクイーンズスクエアということもあり、子供連れの家族に大変好評であった。又、KECA の存在感も大いにアピール出来た。

展示ブースへの来場者を増やすには、まず子供の関心を引いて、それに伴い親もブースへ入ってもらい、体感を通して納得してもらおうことが大切である。

7. 関心を引いた展示物とその概要

①サンゴを実際に持って重さ確かめ、ルーペで表面を見る、ホラ貝を耳にあてて謎の音を聞く、廃棄物利用の玩具を体験してもらう、鳥や虫の鳴き声を聞く等については子供・大人双方に人気があった。

②LED 灯と白熱灯の消費電力の違いを手回し発電機で体感してもらい、ワットアワーマーターでワット数を確認してもらうことにより、大人(特にお母さん)の省エネ意識の啓発に役立ったと考える。又、LED 灯がもらえるクイズラリーもあり関心が高かった。



8. 今後の課題

①カーボンフットプリントは国民の目を輸入品から国産品へ向けさせるための良いツールになると考えるが、表示製品の購入もままならない現状(出回っていない)である。カー

ボンフットプリントの普及方法及びKECAとしてのアピール方法等今後の検討課題である。

尚、スペース上の制約もあり、風呂敷包みは省略した。

②事前の準備は関係者で一回行ったが十分ではなかった。来年度は市民活動としてどのように取り組むか支部全体としての早めの検討が必要である。

9. ご協力頂いた方々：近藤、杉浦(勲)、嶋田、大中、秋元、大野、河野

バリアフリーフェア 2011 への参加報告

河野 健三

横浜ワールドポーターズ(YWP) NPO スクエアの一員として、頭書フェアに参加したので報告する。

1. KECA ブースの出展(9月17日、18日)

バリアフリーフェア 2011 の共通テーマが「五感よ、ひらけ。感じよう、世界を！」なのでKECAのテーマは「五感で体感」KECA コーナーとして体験を重視したブースで参加した。

来場者は2日とも約300名~400名、KECAブースには利き水テスト参加数から推定して100名以上の来場があったと思われる。(写真1、2)

1) 体験コーナー

	体験コーナー	概要	担当
1	利き水テスト 「水道水、煮沸した水道水、天然ミネラルウォーターでどの水がおいしいですか」	2日間とも30名~40名の参加があり、盛況であった。全問正解：30%、一問正解：40%、不正解：30%で個人差が大きいことが分かった。 写真3	大竹さん(横浜支部：リーダー)、 近藤さん(川崎支部)、杉浦さん(横浜支部)
2	見る・触る 「サンゴに触ってみよう」 聴く 「貝に海のお話を聞こう」	いろいろなサンゴを見て、触って重さも体験。 ホラ貝を耳にあてると海の音(?)が聞こえてきた。子供連れの家族や若いカップルに人気があった。写真4	嶋田さん (湘南支部)
3	軽量牛乳びんや開封しやすい形状のびんの展示と重量差、開封しやすさの体感	グッドデザイン賞を受賞したユニバーサルデザインの軽量・リユース牛乳びんの重さと容量比較。写真5、6	吉野さん(横浜支部)、日野さん(東洋ガラス)
4	野鳥の鳴き声を聞いてみよう	下敷きに描かれた鳥、虫の鳴き声を聞いてみよう。	大中さん (川崎支部)

2) パネル展示：東日本大震災視察パネル、サマースクール電気コッコツ作戦等

2. ステージでの講演(9月18日、14:00~14:30)

県央支部の古川支部長が海老名市の小学校で行ったサマースクール「電気コッコツ作戦」の授業内容について講演した。

電気がなくなると使えなくなるものについてのグループ討議、掃除機・ドライヤー等で電気をどの位使うかの測定、手回しモーターでの発電、グループ表彰について実演を含めて講演した。

3. KECA 会員の参加メンバー他(敬称略)

9月16日(17:00~の準備)：木村信幸、小林嘉博、嶋田和夫、高橋弘二、野々村信雄、村井哲郎、吉野 榮一、河野健三

9月17日：植村國男、大竹順之、金本和也、木村信幸、斉藤雅彦、嶋田和夫、吉野 榮一、村井哲郎、野々村信雄、日野勝(東洋ガラス)、河野健三、

9月18日：植村國男、大竹順之、大中睦夫、木村信幸、近藤勝養、嶋田和夫、杉浦勲、杉浦弘祐、高橋信、原洋夫、古川輝夫、守谷喜芳、吉野 榮一、日野勝(東洋ガラス)、河野健三



写真1 KECA コーナー



写真2 KECA コーナー



写真3 利き水テスト



写真4 サンゴに触ってみよう



写真5 ユニバーサルデザインのびん



写真6 ユニバーサルデザインのびん

支部活動報告

支部活動総括

担当副理事長 高橋 弘二

県央支部では、支部内の自治体が主催する環境フェアやフォーラムに参加して、KECAの活動紹介を行ってきた実績が認められ、海老名市から今年のサマースクール子供教室に講師派遣の依頼があり、5小学校で「電気コツコツ作戦」の出前授業を実施しました。

また横浜支部では、横浜ワールドポーターズでのバリアフリー・フェア（9/17、18）開催にあたり、支部会員が中心になって出展・運営に当たったほか、横浜環境行動フェスタ（11/5）に出展したKECAブースは来場者に大変好評でした。他支部においても、KECAの市民活動が徐々に実績を重ねてきています。

KECAの市民活動実績が評価されることが、自治体の環境審議会、各種環境関係委員会・検討会などの委員としての活動の場につながりますので、積極的な取組みを期待します。

横須賀三浦支部

支部長 高橋 弘二

1. 「三浦半島のまん中に自然ふれあいの森をつくろう」をテーマで活動している”自然ふれあい 楽校・サマースクール”において「環境カウンセラー養成セミナー」（7月31日）を開催し、これに協力した。
2. 「KECA 総合研修会 I」（10月8日）が横須賀天神島臨海自然教育園（ビジターセンター）で開催されたので、これに協力した。



3. 市立小学校で、近くを流れる平作川についての環境学習出前授業と、源流案内を行った。

4. 支部活動というものの「横須賀（環境カウンセラーとして）」の活動が中心である。

支部会員が下記の役職にある。

- ・横須賀市環境審議会委員 2名
（学識経験者、公募市民委員）
- ・横須賀市環境教育指導者 2名

横浜支部

支部長 原 洋夫

2011年度第二、三・四半期における横浜支部の活動を報告します。

1. 支部会議の開催：原則毎月第4木曜日午後18時30分から場所は横浜市市民活動支援センター（桜木町）で開催している。8月以降では8月25日、9月22日、10月27日

内容は連絡事項が主体だが神奈川県温暖化防止活動推進センター節電チャレンジシート、KECAの行事（バリアフリー展、総合研修会など）への横浜支部会員参加者が圧倒的に多いのは月一度の連絡会開催によるものと思う。

2. 2011年度横浜支部事業活動進捗状況

4つの部会で活動しているがこの期間のトピックスを紹介する。

- ・ 横浜市環境月間参加（大野、河野リーダ）は11月5日の横浜市環境行動フェスタ（みなと未来クイーンズプラザ）に参加、詳細は別途記事あり。
- ・ 市民活動（大竹リーダ）ではバリアフリー展のKECAブースで利き水や軽量ガラス瓶による五感チェックを実施した。詳細は別途記事あり。
- ・ EA21普及活動（村井リーダ）では事務所当番者によるエコアクション21普及活動の実行案企画中
- ・ 自己啓発企画（石黒、樋口リーダ）では9月22日樋口講師による「原発の功罪」講演を聞いて環境カウンセラーとして今後の環境問題としての放射能問題に対する心構えを話し合った。また11月10日にはサントリー（株）武蔵野ビール工場醸造ラインを見学した。

湘南支部

支部長 西村堅一郎

湘南支部会員 清水 榮さんがご逝去されました。現在会員数は14名です。

毎月最終金曜日の午後6時30分から「藤沢市民活動推進センター」で定例的な集会・会議を開催しています。理事会等の報告、また支部各会員の活動と支部活動について意見を交換しています。

○ちがさき環境フェアに参加しました。

11月3日（木）に「ちがさき環境フェア」が開催されました。今回は地震等の影響で、6月開催が11月になり、「市民ふれあいまつり」、「農業まつり」と同時開催となりました。また、開催場所が茅ヶ崎文化会館から市分庁舎の会議室に変更となったため、出展者数も限られるなか、小山会員のご尽力で「こどもエココーナー」に出展することができました。今回は、パネル展示はなく、他の出展者と同様に、子供たちに遊びを通じて環境について考えてもらうようにしました。机2脚分で、1脚には手回し発電機によって動く、「いるかのジ

キャンプ」と「回転寿司」を置き、エネルギーを体験してもらいました。もう1脚は「変わりえ絵遊び」と「放射線を見よう」で、もう少し大きな子供と大人を対象としました。「変わりえ絵遊び」には横浜支部の大野さんに手伝っていただきました。

今回はじめての出し物は「放射線を見よう」です。「霧箱」を使って放射線の飛跡を見るものです。今回の実演では、ほんの少しの間しか飛びませんでした。でも、放射線量計を持参していたので、大気の放射線量とか花崗岩（御影石）とかランタンとかを計測し、自然の中にも放射線が飛び交っていることを実感していただきました。

スタンプラリーで、こどもエココーナーで景品がもらえるようになっていたため、多くの子供と保護者がわれわれのブースを訪れました。1日だけでしたが今までの2日で実施した位の人出がありました。（環境フェア事務局の発表では、スタンプラリー参加者は390名でした）
○藤沢環境フェアは12月11日に、湘南台文化センターで開催されますが、KECAは諸般の事情で、残念ながら参加できません。

県央支部

支部長 古川 輝夫

当支部における8月から11月までの活動について報告致します。

1. 定例会議

定例的に支部会議を開催し、KECA活動の情報提供と会員同志の情報交換とより深めるため下記の通り実施しました。

8月21日（日）、9月18日（日）、10月9日（日）いずれも17.00～19.00
えびな市民活動サポートセンターで開催、参加者は9～10名（当支部会員の60%が参加）

2. 綾瀬市環境展への出展

今年も10月22日（土）～23日（日）2日間、綾瀬市役所の玄関ホールでKECA環境活動についてパネル展示、環境クイズ、ワットアワーメーターを使った家電器具の節電方法及び親子によるペットボトル再使用の風車発電装置の制作を行いました。

具体的な内容は下記の通りです。

①白熱電球、蛍光灯、LED、扇風機、ドライヤーの現物でワットアワーメーターによる測定を行い、電気消費量や電気料金の違いについて実験を実施しました。





②ペットボトルを加工し風車を作り、小型発電機を組合せて風力発電機を50ヶ用意し来場の環境クイズが正解した子供達に工作し製作したものは持ち帰ってもらいました。

・・・風力発電の原理を学び大変の盛況でした。

③家庭での家電製品の電気使用量の少ない使用方法について、環境クイズを行いました。

展示会は2日間にあたり会員13名の参加協力と来場者数は200人以上があり、行政当局から毎年展示の内容が改善され良くなり、来場者の人気が高かったとお褒めがありました。

また、市長が展示会場に見えられ、当支部が実施した海老名市サマースクールの展示パネルをご覧になり、綾瀬市も来年実施したい旨の話があり、当支部は協力することを伝えました。



3. 地元行政、商工会議所、商工会との情報交換海老名市、綾瀬市、伊勢原市と情報交換を行いました。

綾瀬市環境対策審議会、伊勢原市環境対策審議会の委員として参加しました。

4. KECA への活動の参加協力・支援

- ・ EA21 普及説明会及びコンサルを実施しました。(中央会、相模原市)
- ・ EA21 審査人研修会の参加しました。
- ・ 総合研修会Ⅰに参加しました。(サマースクールの発表)
- ・ 総合研修会Ⅱに参加しました。
- ・ バリヤフリーフェアの会場でサマースクール実施報告を行いました。(12 ページ参照)

5. 綾瀬市から前理事長の杉浦さんが環境功労賞を受賞

環境対策委員会委員として永年にわたり環境施策の推進に尽力し市制に貢献につき
11月1日 綾瀬市文化会館で市長から環境功労賞を受賞されました。
おめでとうございます。

6. 県央支部会員の宮本省治さんが9月にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

サマースクール 『電気コツコツ作戦』

NPO かながわ環境カウンセラー協議会県央支部

<海老名市小学校5校で実施した授業の内容>

1. グループ討議 「電気がないと使えなくなるものをグループ討議で整理する。」
2. 実験① 「電気をどのくらい使うのか測ってみよう！」
①掃除機 ②電灯セット ③ドライヤー ④扇風機
3. 実験② 「電気を作ってみよう！」
①風力発電 ②手回し発電機 ③手回し発電ラジオ ④振動懐中電灯
4. 実験③ 「停電と節電の実験」
5. グループ討議 「電気コツコツ作戦をつくろう！」
6. グループ発表 各グループから自慢の作戦の報告及び授業の感想報告
7. グループ表彰

グループ討議

ポストイットを使ってみんなの意見まとめました。



実験① ワットアワーメータで電気を測定しました。

実験③ 停電と節電の実験をしました。



節電説明キット



実験② 電気を手回しモータで作ってみました。

グループ表彰 チームワーク良く「電気コツコツ作戦」を作りましたので表彰です。



西湘支部

“豊かな自然が売りです”

支部長 小林嘉博

支部が所在する地域の山々の色合いが素晴らしいグラデーションで目を楽しませてくれています。本年3月に未曾有の大災害があり、震災に遭われた地域の皆様に引き比べて誠に公平でないことを感ぜざるを得ません。

西湘支部は、定例の例会を開いていますが、毎回の参加者は、かなり固定されています。かながわ環境カウンセラー協議会全体の活動に関する情報の交換や会員相互の意見交換を主に行っている、サロン（クラブ）的な集まりで運営しています。会合の後では、当日の参加者が有志で近くの居酒屋に繰り込んで支部例会の続きを1～2時間行うことを常としています。

専門的な活動の他に、環境（自然）考察会をできるだけ続けようと考えています。近郊の里山などを選んだ「緩やかなハイキング」程度でのコースを設定して、支部会員で下見を行った上で、各支部長さんを通じて全支部の皆様にも案内させていただきます。ご参加をお待ちしています。

なお、今回は、「矢倉沢往還・足柄峠」コース、2012年3月17日（土）実施予定です。参考の風景写真を添付します。



委員会活動報告

委員会活動総括

副理事長 小林嘉博

自分が所属している「かながわ環境カウンセラー協議会」における日常の活動において「協議会」は何を目指して活動しているのだろうか？とか、「委員会」は何を目指して活動しているのだろうか？などと言うことを問い直すことはしていないことが多いと反省の必要があると痛感している。私個人の問題に限られることかとも思うが、当協議会は何を、あるいは何処を目指すところなのかを問われて、単純に「環境保全の推進」に寄与する活動を行うことで十分に説明の大枠になると考えていた実態がある。

品質管理（経営）においても環境管理（経営）においても、まず品質あるいは環境方針をたて、次に方針に沿った形で目標とスケジュール等を含む計画を策定する段取りで活動を進めている（いわゆるPDCAを回す）。当協議会において、何を、あるいは何処を目指すところなのかの問いに（即座に）適切な答えを提示できないとすればどうすれば良いのだろうか。何が足りないのだろうか。

まず、方針をして、当協議会の事業活動に見合ったものにし、環境への取組の基本的方向を分かり易くできるだけ具体的に箇条書き的に（簡潔に）示すことが望ましいと思う。次の段階としては、方針策定は誰が、あるいはどのような手続き（手順）で定めるかということになるのであるが、これらの諸点は当協議会の定款に従って措置することになる。

例えば、毎年度の当協議会の方針、目標などを作成するときには、該当する方針、目標などを実現するために相応しい組織（委員会）をセットで考えるべきであることは理の当然であると思う。方針、目標などが上位であって、委員会の革新を考えずに旧態のまま、古色蒼然となっていることに気づかずに放置したままにして置くことは良くないと思う。

長く継続して社会に貢献し、活力ある組織（協議会）を維持するためには、活動が何らかの形で有償の形を取れるものであると思う。とくに、現状の当協議会の場合、補助金を糧にした活動の計画はないので、経常収支を健全な姿で維持することが不可欠であること意識して、定款に規定された事業の中で適切な収入を確保できる事業を柱にしなければなりません。真反対のご意見もあろうと思います。会員諸氏のご叱正をお願い致します。

環境教育委員会

委員長 高橋弘二

1. 委員会：8月23日（火）、9月26日（月）、10月25日（火）、18時30分～20時30分
県民活動センター9階フリースペース

[打ち合わせた内容（概要）] <主担当>

(1) 総合研修会 I <高橋>（実施報告：2ページ参照）

(2) 市民環境活動報告会 <岡本>

- ①開催日：平成24年3月3日（土）午後、県民センター2階ホール
- ②実行委員会：神奈川県環境学習リーダー会を中心とする実行委員会に実行委員（岡本、上野、川村、杉浦）として参加し、企画・運営にあたる。KECAも応分の負担金が必要。
- (3) 環境教育委員会ホームページ更新 <上野>
KECA全体のホームページ見直しが必要、事務局広報担当と打合せて進める（年末目標）。
- (4) 環境教育指導者登録票の更新と新規登録 <上野>
- ①登録者に対し、更新／辞退・内容見直しの依頼
 - ②新規登録者の募集
 - ③ホームページに掲載
- (5) エコ検定講師事務局移管 <高橋／（近藤）>
エコ検定講師事務局が環境管理委員会から環境教育委員会に移管された。移管にあたり、委員長からエコ検定講師事務局に対して、現状と今後の取組みについての報告を求めたところ守谷理事から文書で報告があった。これをもとに話し合いを行った。
- ①事務局メンバー（ECUの講師講座受講者）全員が環境教育委員会に所属する必要はないが、責任者（理事であること）を選任し環境教育委員会に所属する（近藤理事）。
 - ②エコ検定講師は現メンバーに限定することなく、KECA会員のエコ検定合格者で講師希望があれば、講師として活動する道を検討すること。
 - ③ECUからの依頼を待つだけでなく、KECA独自のエコ検定受験対策講座を開催することを検討すること。
 - ④資格取得のため学生の受験者が多いようなので、企業だけでなく対象を広げる。
 - ⑤必要あればECU（エコ検定担当）、商工会議所との話し合いを持つこと。
- (6) 環境教育指導者養成講座受験者対象のKECAサロン（フォローアップ） <高橋>
今年1月に実施した「環境教育指導者養成セミナー受講者」に対するフォローとして、簡単な講義（環境教育推進法改訂など）の後、意見交換、懇親会を開く（12月）。
- (7) 環境教育指導者養成セミナー <高橋>
来年の1月末～2月中旬の開催の予定で、なるべく早く企画し募集開始すること。
エコピープルを主な受講対象とする。

環境管理委員会

委員長 照沼俊夫

審査人大会報告と環境管理委員会直近までの成果

例年のEA21審査人全国交流研修大会が、11月4日、5日に金沢市の石川県立音楽堂『邦楽ホール』及びANAホテルで開かれ、場所柄盛会でした。KECAからも多数参加しましたが、若干紹介しますと、14日が基調講演と分科会、15日が分科会の結果報告と講

演2件と言うプログラムでした。分科会の報告は後に事務局から報告があるかと思いますが、第一分科会（環境保全が企業利益に直接結びつくアドバイス）、第二分科会（EA21 事業者に役立つ審査 審査人の皆さんの思いは）の内容が注目されます。特に4回の審査が終わって、新しい審査人に代わる案件が増えてきたので、前任の審査人と後任の審査人との審査姿勢や審査視点の違いが際立ち、事業者がおかしいと思う事例が出てきたことに対し、【自己の正しさや前任者との違いを主張するあまり、後任者が前任者の審査を否定することが無いようにしよう】、また【後任者は前任者の審査報告書を読んで行こう】と言う注意喚起や提言があったことが特筆されます。我々もこのような立場に立つ訳で、審査人各位におかれては、前任者を否定すると言うことは、我々が拠り所としているEA21そのものを否定することになると言うことを肝に銘じ、ソフトランディングに努力することを期待します。

そのような中で気になったことは、【指導】という言葉が、今なお使われていることです。私は如何なものかと思いますが、これについては以下の二文を以って結びとしましょう。

座敷芸の達人の言葉：【芸人に上手も下手もなかりけり、行く先々の水に合わねば】

井上ひさしの言葉：【人間が生きて行くためには世界がどんなふうに出ているかという世界観と、世界がそんなふうに出ているならこう生きようという処世訓が必要だ。】【その時その時の利害に合わせて、この世界観と処世訓を簡単に変えてしまう人間が多い。彼らを信用してはいけない。】

一方で、EA21の登録件数は順調に伸びているが、返上も増えつつあると言う報告が事務局からありました。

また講演では、**かながわ**でも何度もお呼びしている鈴木敏央氏が、【改正廃棄物処理法の解説】と言う講演をされました。大変参考になりますので、欠席された審査人で廃棄物、建設の事業者を審査する人はチェックして置いた方が良いでしょう。文字が小さくて読みづらいのが玉に傷ですが・・・。

さて、話は変わりますが、環境管理委員会がKECAに約束した予算は、委員各位の協力により既に120%達成しています。また現在インキュベーション中の案件が、全てインキュベーションすると件数として330%達成することになります。これについては各担当指導員が上手にEA21事業者として誕生させるように期待します。

KECA所属の審査人も新旧合わせ、耳の痛い話が多少ありますが、これについては委員会の席で報告します。

会員の投稿

加藤幸男

「地球温暖化について」

12月11日 南アフリカで開かれていた気候変動枠組み条約締結国会議（COP17）は、11日早朝、京都議定書の温室効果ガス削減義務を2013年以降も延長し、全ての国が参加する新体制の枠組みを15年までに作るとした「ダーバン合意」を採択し、閉幕した。

12日朝日新聞夕刊

1) 「12月7日細野環境大臣ステートメント」の一部

「2℃目標を認識し、2050年までに世界全体の温室効果ガスの排出を少なくとも半減することを、国際社会の共通な認識とする。」

COP17の重要な成果

- ① カンクン合意に切迫感を持って着実に実施する。
- ② 将来の枠組みは、2020年を待つことなく出来るだけ早急に成立させる。
- ③ 2013年以降将来枠組み構築までの間においても、各国は排出削減の努力を着実に進め、国際的にMRVを通じて実施状況の透明性を確保すべきです。

加藤追記「上記、2℃目標-----なぜ2℃か？最近の説明なしに使われている。

2℃を超える気温上昇で壊滅的な被害

(産業革命前からの気温上昇) -----出典：スタンレーンビュー

:なぜ、2℃を超えないことが重要なのか

* 100年で2℃の気温上昇は、緯度が300km北に移動と同じで、殆どの植物は年に3kmも移動できない。

・ 移動距離 (m/年) クリ・ブナ (0.4km)、 マツ (1.5km)」

2) 地球温暖化懐疑論 → 同批判 (反論)

① 過去及び現在の観測データに関する議論 ②-----気候変化の原因に関する議論

③炭素循環に関する議論 合計36項目 (議論1~議論36)

同批判は、懐疑論36項目に対しての反論でかなり分かり易い記述。

冊子が2005年頃配布されたが、検索サイトから無料で入手可能。

3つだけ紹介する。

議論1：温暖化への人為的な影響に関する世界的な合意はない。

議論3：そもそも温暖化が起きているかどうかはわからない。なぜならば、温度の観測データがおかしいし、温暖化も止まっている。

議論35：「京都議定書は、とてつもない不平等条約である」、「日本の様な省エネが進んだモデルの様な国では、これ以上、CO2排出は減らない」

加藤私見：温暖化の事実は、日本の世界で唯一の温暖化観測衛星「COSAT」で観測可能。省エネポテンシャルは、まだ、無いとは断言出来ない。可能性は、無限に広がっている。日本から省エネの技術を世界に広げていくことが省エネ先進国の使命と思う。

(完)

事務局便り

『気軽に事務所を訪ねて下さい』

事務局長 河野健三

前回の事務局便りでは、『誰もが集える事務所を目指して』と題してお話ししましたが、その理由はこれからいろいろな活動をしていく上で、まずお互いを知ることが第一歩であると考えているからです。今年度の事業活動の第一の施策に「活力ある支部活動・委員会活動の実現」が掲げられており、それを進めるための仲間づくりの場としての事務所の活用をお願いしました。

私も含め会員の皆様は KECA へ入会する前にそれぞれ長い会社生活を含めいろいろな人生を歩んできており、仲間となるにはそれなりの時間と話し合いが必要です。そのきっかけ作りとして事務所を活用していきたいのです。

今年度から事務局担当の理事(総務担当・会員担当)も増員され、事務所当番として新しい人も参加しています。是非、気軽に事務所を訪ねて下さい。

私は基本的には月曜日を事務所当番の日にあてようと思っておりますが、いつでも事務所へ連絡下されば日時を相談してお会いします。私以外の事務所当番の方々とも話し合ってください。KECA の現状について話し合い、お互いの理解を深めましょう。いろいろな活動の仲間づくりが出来れば、結果として「活力ある支部活動・委員会活動の実現」につながっていくと思いますので宜しくお願いします。

来春に予定されている KECA のイベントをお知らせしますので予定に入れておいて下さい。

開催日	名称	概略内容	対象
2012年3月3日(土)	市民環境活動報告会	基調講演と口頭発表、 ポスターセッション、交流会 (県民センターで開催)	会員と市民
2012年3月10日(土)～ 11日(日)	市民活動フェア 2012	KECA 活動の紹介、 市民団体との交流と協働 (県民センターで開催)	会員と市民

発行 特定非営利活動法人 かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1

横浜ワールドポーターズ6F NPOスクエア内

理事長 木村 信幸

事務局長 河野 健三

TEL : 045-226-5822 FAX : 045-226-5825

E-Mail : 37keca@kke.biglobe.ne.jp

URL : <http://www1a.biglobe.ne.jp/hama37keca/>

年会費振込先：ゆうちょ銀行 口座番号：00260-9-24711